

# 環境報告書

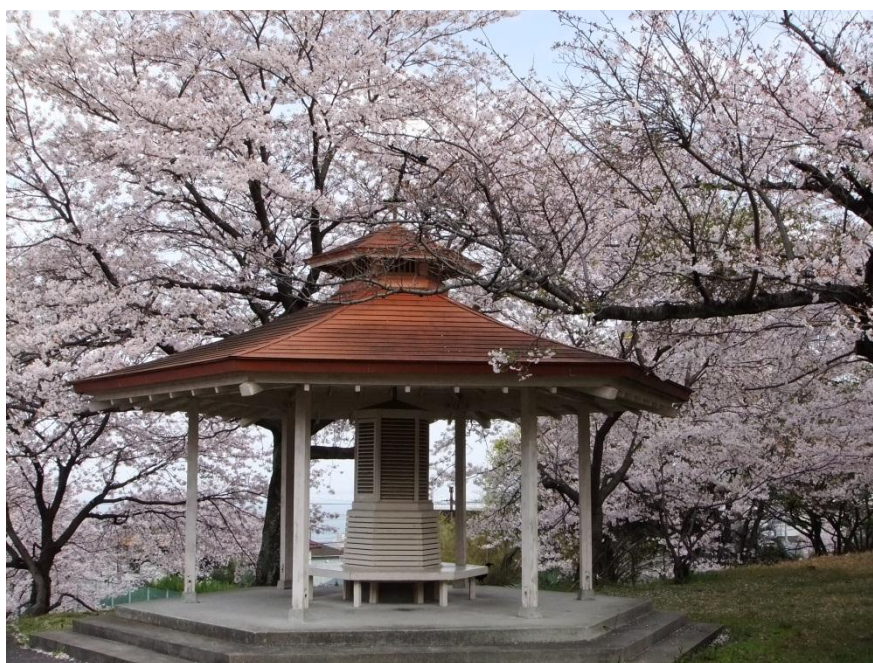
2014



九州大学病院別府病院

# 1. 目 次

1.	目次	.....	2
2.	トップメッセージ	.....	3
3.	別府病院概要	.....	4・5
4.	環境安全教育	.....	6
5.	市民公開講座	.....	7
6.	環境月間	.....	8
7.	環境活動	.....	9
8.	エネルギー	.....	10・11・12
9.	環境安全	.....	13・14



## 2. トップメッセージ

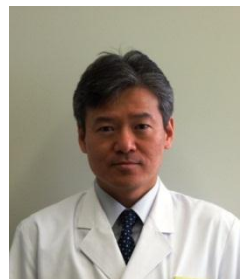
当院は昭和 6 年より九州帝国大学温泉治療学研究所 附置病院として発足し、以来「温研」の愛称で別府市民の皆様に親しまれて参りました。平成 23 年に現在の九州大学病院別府病院として再出発いたしております。当院は優れた環境と伝統を踏まえ、がん、免疫疾患、生活習慣病、脊椎疾患などの難治性疾患を対象として患者さんに優しく侵襲の少ない先進的医療を提供しています。

現在、診療科は従来の内科（リウマチ膠原病、循環器、内分泌・糖尿病、血液、骨粗鬆症、老年病）、外科（消化器がん、乳がんなど）、放射線科（画像診断、放射線治療）、整形外科（脊椎外科）、麻酔科の 5 科で診療を行っております。特に、「九大温研」時代からの伝統で機能障害を有する患者さんには温泉療養を含めたリハビリテーション治療も積極的に行っています。

当院は九州大学病院の理念である「患者さんに満足され、医療人も満足する医療を提供する」の基本に立ち、患者さんとの信頼に基づいた安心できる専門的医療と患者さんの健康の増進のために質の高い医療の提供をめざしております。その実現のためには、病気を発症するメカニズムや治療標的分子を開発するなど、臨床応用をしっかりと出口に据えた臨床研究が必要です。われわれは古くから大学病院の附置研究所としての役割を努めさせていただきました。

ところが、近年、地球温暖化、紫外線暴露、食生活の高脂肪食化、高齢化社会の実現などの様々な生活因子・地球環境要因がこれらの疾患と密接に関わってきていることが次第に明らかになって参りました。

こんにちまで温泉の効能に関する研究などを歴史的に推進してきた学問の府として、これからも地球環境問題を対岸の火事と捉えずに、われわれに突きつけられた喫緊の課題として取り組んで参りたいと存じます。さらに、身近なところでは職員全員が環境に対する高い問題意識を持ち、一丸となって省エネルギーの推進、省資源化の推進、医療廃棄物及び一般廃棄物の適正管理及びゴミの分別・減量化等々に努めてまいります。



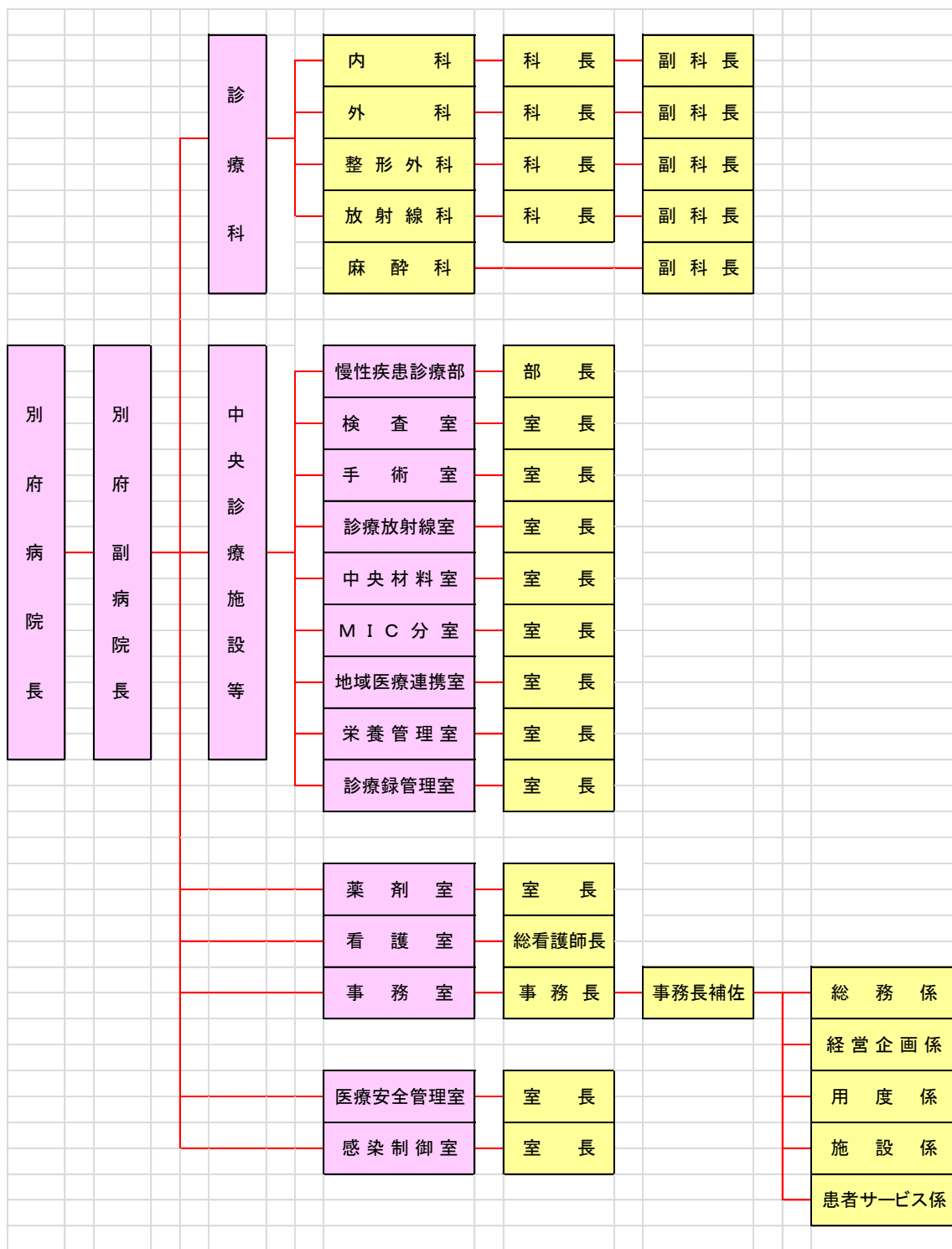
九州大学病院別府病院長  
三 森 功 士

### 3. 九州大学病院別府病院概要

名 称	九州大学病院別府病院
理 念	患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。
基本方針	◇地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進 ◇プライマリ・ケア診療の充実 ◇全人的医療が可能な医療人の養成 ◇専門医療の高度化を目指した医学研究の推進 ◇国際化の推進 ◇生活の質が向上できる医療の提供
所在地	〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原4546 TEL 0977-27-1600 (代表) FAX 0977-27-1605 URL <a href="http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/">http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/</a>
病床数	一般 104床 療養 36床
沿 革	設 立 1931年(昭和6年) 10月 温泉治療学研究所附属病院 改組・統合 1982年(昭和57年) 4月 生体防御医学研究所附属病院 統 合 2003年(平成15年)10月 九州大学病院別府先進医療センター 統 合 2011年(平成23年) 4月 九州大学病院別府病院
構成員	(平成26年4月現在)
教 員	22人
医員・研修医	10人
医療技術関係職員	21人
薬剤関係職員	4人
看護関係職員	83人
事務関係職員	31人
その他職員	12人
合 計	183人

別府病院の組織図

平成26年4月1日現在

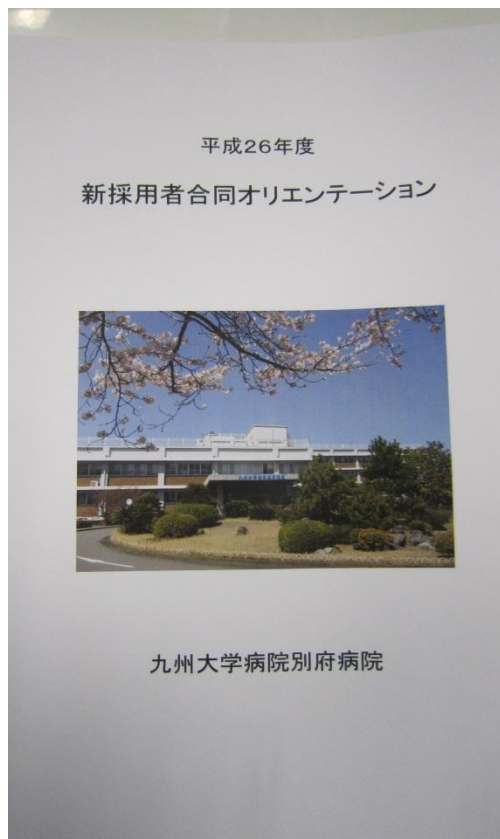


## 4. 環境安全教育

平成26年4月に、九州大学病院からのテレビ中継を使い、転任者及び新規採用者に「新採用者合同研修」等に基づき、医師・看護師・職員が講師となり次のような安全教育を実施しました。

### 【講義内容】

1. 病院概要
2. 医療安全管理について
3. 院内感染防止について
4. 個人情報保護について
5. 就業規則について
6. 防災について
7. 薬剤とオーダーの運用について
8. 栄養管理について





## 6. 環 境 月 間

別府病院ではエネルギー使用量の削減の一環として電気量の削減を目的に、夏期の期間において病院内等の節電パトロールを行っています。

期 間： 平成25年8月

場 所： 病院本館、理療棟、研究棟

回 数： 月1回（抜き打ち）

人 数： 事務職員で構成し、3班にて実施

実施方法： 診療及び研究を除く部屋毎に「節電チェックシート」にて節電の取り組み状況を確認する。

九州大学病院別府病院			
節電チェックシート ( ) 回目			
棟名称 ( ) ( ) 階 室名称 ( )			
調査日：H24年 ( ) 月 ( ) 日 ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分			
チェック項目	YES	NO	
<b>エアコン</b>			
①室温を冷房は28℃を目安に設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②不要時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>照明器具</b>			
③昼休みの一斉消灯を実施している。（事務部のみ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④必要な部分だけ点灯している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>パソコン</b>			
⑤省エネモードに設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥帰宅時のシャットダウンを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>プリンタ</b>			
⑧省エネモードに設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨帰宅時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑩待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>冷蔵庫</b>			
⑪温度を季節によって適切に設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>その他機器</b>			
⑫不要時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑬待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>勤務</b>			
⑭早期退勤日を促進している。（事務部のみ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<b>YESの合計</b>
YESが12個以上	YESが8～11個	YESが4～7個	YESが3個以下
節電上手	まあまあ	まだまだ	もっと努力



パトロール風景



パトロール風景



## 7. 環境活動

### (1) 職員による清掃活動

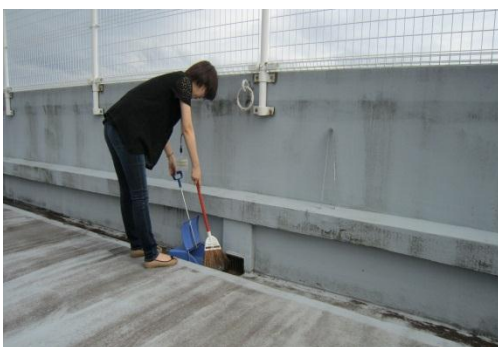
病院内では、環境美化を目的として勤務時間以降に不定期ではありますが、職員（医師・技師・看護師・事務職員）による清掃活動（草取り）など、外来診療棟前ロータリーから正門周辺草取り、構内道路の落ち葉やゴミ拾いなど、環境美化のための活動を行い、梅雨前には建物の屋上樋廻りに溜まっているゴミ等の清掃を行っています。



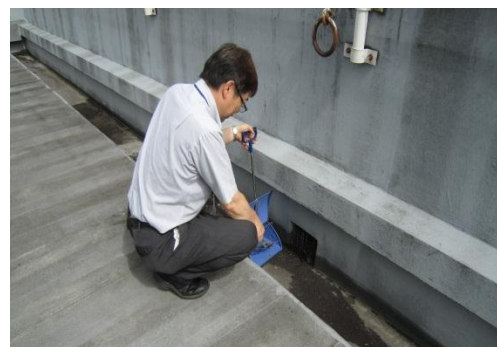
構内清掃



構内清掃



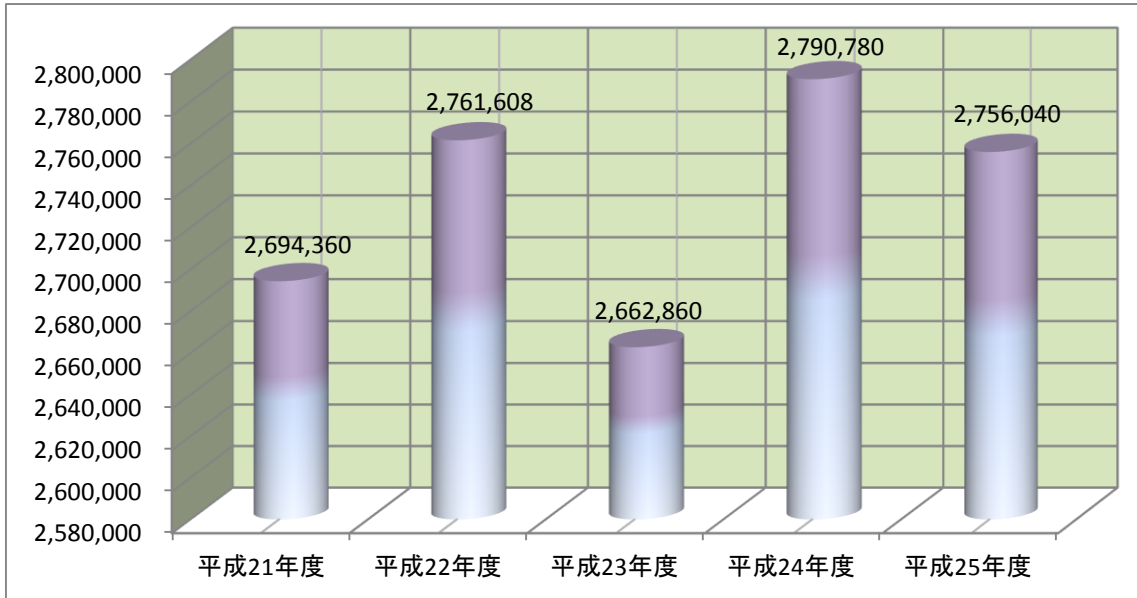
建物屋上清掃



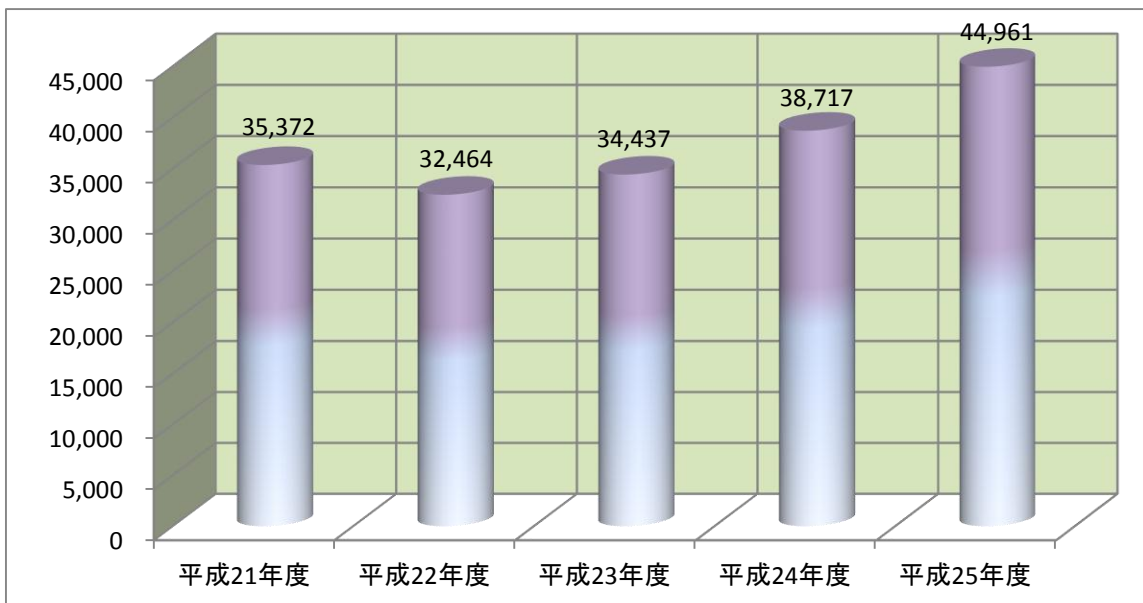
建物屋上清掃

## 8. エネルギー

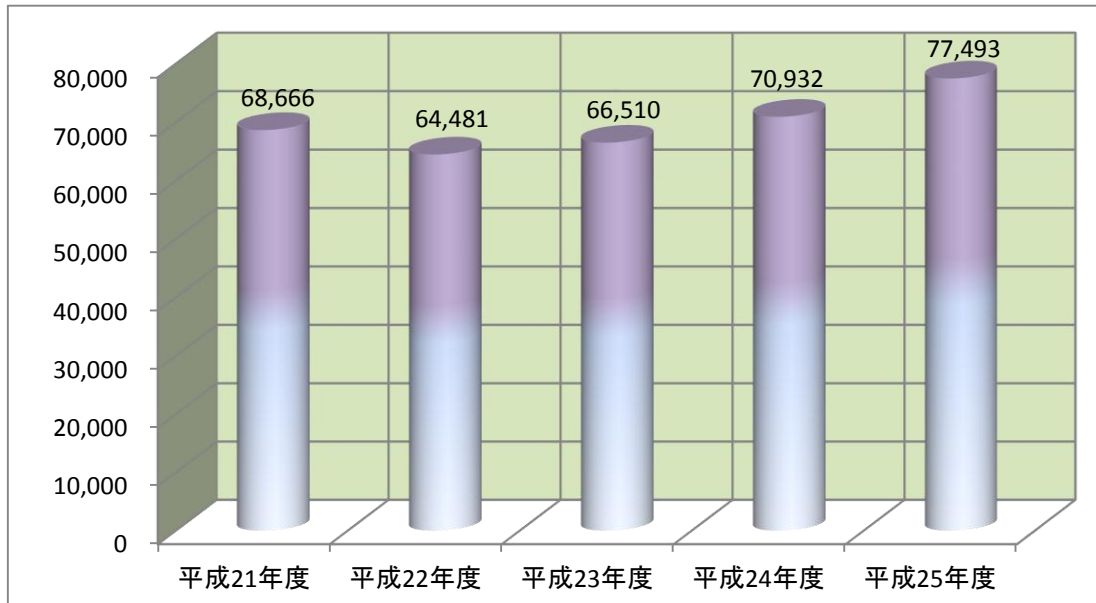
別府病院でも、エネルギー管理を行うために下記の表を作成してエネルギーの管理資料としています。



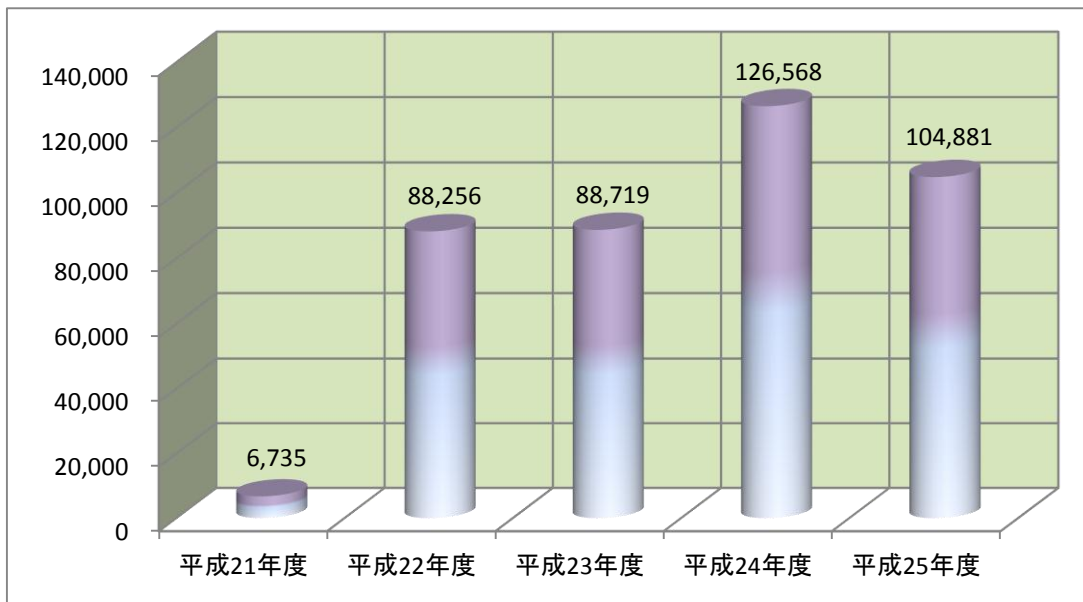
電気使用量 (kWh)



上水使用量 (m3)

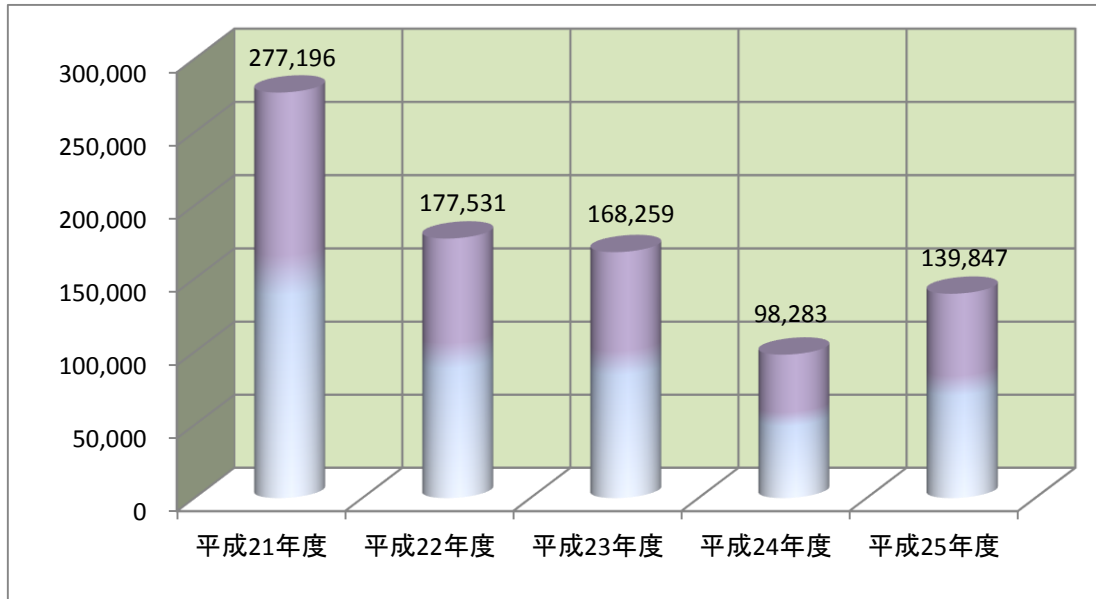


下水使用量(m3)



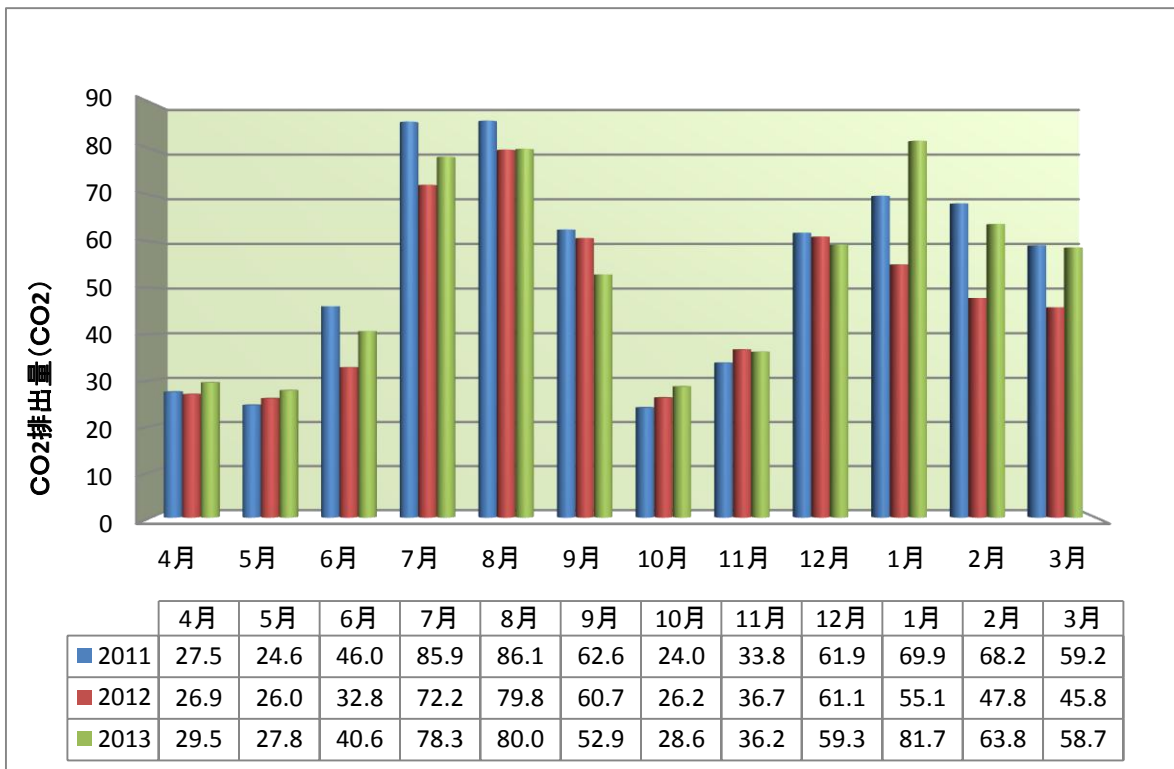
ガス使用量(m3)

平成 22 年度より、ボイラー 1 基ガス炊へ更新のため増加



A 重油使用量(L)

平成23年度末、地下タンク改修のため減



CO2 排出量比較表（月別年度比較）

## 9. 環 境 安 全

別府病院では、医療廃棄物（感染性・非感染性）及び一般廃棄物（可燃・不燃）を分別して集荷しています。医療用廃棄物については、その取り扱いについて注意する必要があります。医療で使用した針はさらに個別の専用容器に入れて廃棄しています。



専用の分別容器に入れて廃棄を行っている。  
左から可燃、非感染性  
廃棄物、感染性廃棄物  
×2



医療で使用した廃棄  
する針を入れる専用容  
器



廃棄物置場においても  
分別して集荷している  
左から段ボール、感染性  
医療廃棄物、非感染性医  
療廃棄物不燃物、可燃物

平成26年2月にボイラー煙突を撤去し、新たに病棟北側外壁に煙突を設置しました。別府市は「東南海・南海地震防災対策推進地域」に指定されており、大規模地震（震度6弱）発生の際はボイラー煙突（昭和44年設置，高さ30m）が倒壊することが懸念され、周辺地域の住宅街への二次災害も引き起こしやすい状態でありましたが、今回煙突を解体・新規設置したことにより「安全・安心」が図れ、景観もよくなりました。



撤去前のボイラー煙突



新設ボイラー煙突